

第48回 後志地区バドミントン大会コロナウイルス感染症対策 「競技・運営上の注意」

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会および北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策策「競技・運営上の注意」に準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から**入場者の制限をするとともに、無観客試合での大会実施とする**。会場内への出入りについては、原則当日試合に出場する選手、引率者(監督・顧問等)、役員(審判含む)および補助生徒のみとする。(以下、大会関係者とする)

※**保護者等の入場はできません。**

②上記(1)の該当者は、次の書類を必ず提出すること。

【提出書類A】健康状態確認シート一覧(男女別・学校およびチーム用) ~個人戦初日(9/10)の受付時に男女別に提出する。

【提出書類B】健康状態確認チェックシート(個人用) ~大会2日目(9/11)は、生徒人数分をまとめて、受付時に提出する。(2日目については、【書類A】の提出は不要)

※役員については、大会初日から【書類B】のみ提出する。 ※各自、自宅(宿泊先)で検温を済ませておくこと。(入館時に検温する場合あり)

●【書類A】・【書類B】は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理します。

なお、体調がよくない場合(発熱・咳・倦怠感などの症状がある)は、自主的に参加を見合わせることを。

③発熱者(37.5度以上)の入場を禁止する。

④大会関係者は期間中、必ずマスクを着用すること。(試合時および練習時は除く)

⑤試合当日、予定していた試合が全て終了した選手は、順次退館するようお願いします。その際は、引率者(監督・顧問等)とよく相談の上、保護者の協力も含めて帰宅に努める。

⑤「新北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行う。

3. 会場内で使用する物品について

①感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。(消毒薬の残量チェックを定期的に行う。)

②出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。

4. 大会会場内に関する確認事項

①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。

②密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。

③外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。

④更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。

⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。

⑥待機場所および観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行い、席の移動は禁止する。(自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動も禁止する。)応援は声を出さずに拍手をもって行って下さい(手拍子禁止)。鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止します。

5. 大会本部

- ①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ②関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ③共用スペース（トイレ・更衣室・食事場所等）および共有物品については、定期的に消毒を行う。

6. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含む継続した対応を行う。

- ①遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ②窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ③コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
- ④コーチングシートは1席のみ用意します。使用した椅子は、チェンジエンス毎に持ち歩くこと。
- ⑤インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑥コートのモップ掛けは、毎試合終了後に行う。
- ⑦毎試合終了後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）を消毒する。
- ⑧毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

7. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ②得点係は、手袋（ビニール）を使用する。（線審が得点係を兼ねる場合がある）
手袋を使用しない場合は、線審が試合が終了するごとに椅子・審判台・得点板を消毒すること。
- ③選手同士や審判員との握手は行わない。
- ④トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ⑤コールは、必要最小限とする。
⇒「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑥シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを直接かご(水色)から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収かご(白色)に入れる。※定期的に競技役員が確認する。
- ⑦プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑧汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑨シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑪コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- ⑫ウェアの背面文字列表示については、明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と明確に区別できるウェアを着用すること。（ウェアの更衣をお願いする場合あり）

8. 開閉会式・監督会議・公式練習について

- ①開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行う。監督会議は実施する。
- ②公式練習は、通常どおり行う。

9. その他

- ①会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
- ②適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ③ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。

◎今大会は新型コロナウイルス感染予防の観点から、小樽選手権大会と同様な大会運営になると思います。

感染者を出すことなく無事に大会を終えたいと考えています。

皆様の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。